歳出予算事業概要書

款	04 衛生費	項	01 保健衛生費	目	04 母子保健費	所属	0101010500-0000 子育て支援課

事業			
大	0211	不妊治療費助成事業	（簡略番号：008126）
中			
小			
細			

事業期間	平23．4．1～平24．3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分		事業区分			
補助単独区分		目的区分	衛－保－その他		

区分		本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費		1,225	875	350	875	700
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,225	875	350	875	

【事業概要】

1．事業の概要と必要性

【事業概要】

子どもが欲しいと望んでいるにもかかわらず、不妊に悩み、治療を受けようにも治療費が高額であるため、経済的な負担から十分な治療を受けることができず、子どもを持つことを諦めざるを得ない方も少なくありません。

そのため、不妊治療のうち体外受精及び顕微授精に要する経費の一部を助成し、子どもを持ちたいと切に願う夫婦の経済的負担軽減を図っていますが、平成22年度からは助成額を1年度につき最大175,000円（平成21年度までは1年度につき100,000円）とし、引続き、更なる経済負担軽減を図っていきます。

2．根拠法令

3．用地の状況

4．基本計画との関連

次世代育成支援後期行動計画

5．本年度の計画効果

不妊治療を受けている夫婦の経済的負担は大きく、子どもが欲しいと望みながら諦めざるを得ない方も少なくありません。本事業で、不妊治療に係る費用の一部を増額助成することで、経済的負担の軽減を図り、子どもを望む夫婦の支援をします。

あわせて、専門職（保健師・助産師・臨床心理士・栄養士）による相談業務を充実させて少子化対策に寄与するものです。

（特定不妊治療費助成事業実績）

平成19年度　４件　305,774円
平成20年度　５件　500,000円
平成21年度　７件　700,000円
平成22年度　５件　705,230円（12月末現在／平成23年3月末までにあと2件程度見込）

＊H22年12月末現在までの特定不妊治療費助成事業申請者17名（うち複数年申請者２名）の内、出産に至った方７名、妊娠中の方２名。

6．財源の説明

町が負担

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 原材料費		
02 給料			17 公有財産購入費		
03 職員手当等			18 備品購入費		
04 共済費			19 負担金、補助及び交付金		
05 災害補償費			20 扶助費	1,225	1,225
06 恩給及び退職年金			21 貸付金		
07 賃金			22 補償、補填及び賠償金		
08 報償費			23 償還金、利子及び割引料		
09 旅費			24 投資及び出資金		
10 交際費			25 積立金		
11 需用費			26 寄附金		
12 役務費			27 公課費		
13 委託料			28 繰出金		
14 使用料及び賃借料			予備費		
15 工事請負費			合　計	1,225	1,225

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】

実施計画			実施計画計上額
	部		
	章		
	節		
	細節		